

新須磨 NEWS

新須磨病院広報誌

2025 April 春号



予約の方法・予約受付時間

一般の方・患者様用

医療サービス課

受付時間／12:00～17:00(月～土 ※日・祝除く)
TEL／078-735-0001
FAX／078-735-5685

医療機関の方用

地域医療相談センター

受付時間／9:00～17:00(月～土 ※日・祝除く)
TEL／078-735-0665(直通)
FAX／078-735-0089

医療法人社団 慈恵会 新須磨病院

〒654-0048 神戸市須磨区衣掛町3丁目1-14
TEL 078-735-0001 FAX 078-735-5685
URL <https://www.jikeikai-group.or.jp/>

HPは
コチラ



インスタ
はコチラ



広報誌への
ご意見・ご要望は
こちらから→



新須磨ニュース
バックナンバーは
こちらから→



担当医表は
こちらから→



採用情報は
こちらから→



新須磨病院 広報誌「新須磨NEWS」 2025年4月発行(年4回発行) 発行元:新須磨病院

表紙写真/Photo by:佐伯 亜由美(中野医師)

©2025 新須磨病院/本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等をご遠慮ください。

※本誌の取材・撮影には感染対策に充分配慮して行っています。

Special

まぶたが開かない!? 眼瞼下垂について/P1

逆まつげ?逆まぶた? 眼瞼内反症について/P2

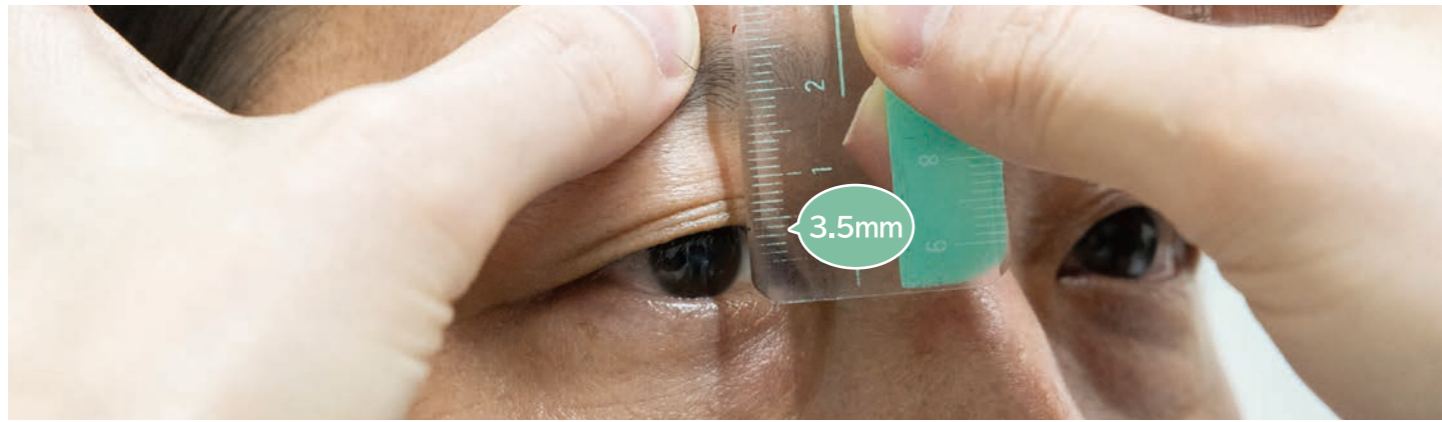
眼科と形成外科の連携! 眼瞼下垂・眼瞼内反症の治療について/P3-P4

プロフェッショナル紹介『視能訓練士』/P5

部署紹介『地域包括ケア病棟』/P6

慈恵会グループのご紹介 What's 神戸総合医療専門学校/P6

まぶたが開かない!? 眼瞼下垂について



▲写真1 眼瞼下垂の診断の様子

まぶたが開きにくい、視界が狭いなど、
眼瞼下垂かもしれません

最近、「視野が狭くなった」「まぶたが重く感じる」「おでこに深いシワができた」などの症状はありませんか？もしかすると、その症状は「眼瞼下垂」が原因かもしれません。「眼瞼下垂」とは、上まぶたが下がってくることで視界を遮り、見えにくくなってしまいう状態です。年齢と共にまぶたを上げる筋肉の力が落ちる、まぶたを上げるために必要な神経の機能が低下する、またはまぶたの皮膚が垂れ下がってくるなどが原因です。

加齢以外では、交通事故や脳梗塞などで神経が傷んで起こることもありますし、またハードコンタクトレンズを使用される方は、はずすときに上まぶたの筋肉を引っ張るため、比較的若い方でもなりやすいと言われています。

形成外科との連携で
手術までがスピーディーに

眼瞼下垂の程度を診断するためには瞳孔から上まぶたの距離を測ります(写真1)。正常は3.5mm以上ですが、それ以下の場合は眼瞼下垂の疑いがあります。治療が必要かどうかは実際にまぶたを上へ引っ張り上げ、見やすくなるかどうかで判断します。内服薬や注射は効きにくいので、治療には手術が必要です。

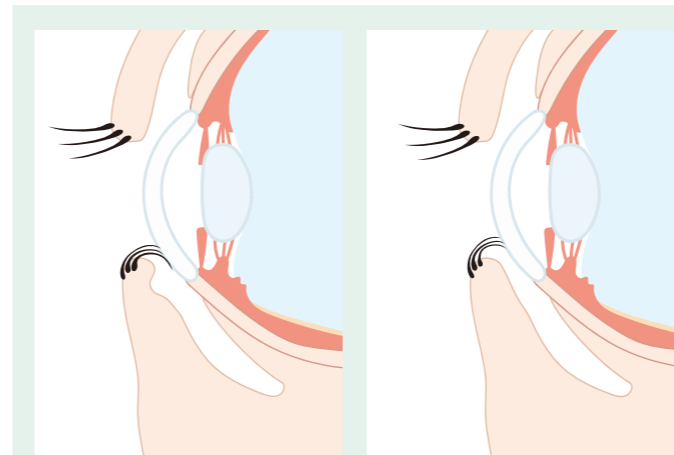
まぶたの手術は術後の見た目に影響しますので、新須磨病院では形成外科で手術を行います。同じ病院に眼科と形成外科があるので、電子カルテでの情報共有、手術までの行程がスムーズに進む点は当院の魅力だと思います。「もしかして眼瞼下垂かも？」と思われた方は、ぜひ一度ご相談ください。

眼瞼下垂セルフチェック

- | | | |
|-------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| Q1. 眼がしっかり開かない | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q2. 視野が狭い | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q3. 眠たくないのに眠いか聞かれる | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q4. 黒目がまぶたで隠れている | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q5. まぶたを引っ張り上げると見えやすくなる | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q6. おでこに深いシワがある | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |
| Q7. 眼を開けたときに眉毛が上がっている | <input type="checkbox"/> はい | <input type="checkbox"/> いいえ |

上記項目に3つ以上当てはまる方は、眼瞼下垂の可能性がります。一度ご相談ください。

逆まつげ?逆まぶた? 眼瞼内反症について



▲眼瞼内反症

▲睫毛内反症

まぶたが眼球側に入り込む
眼瞼内反症

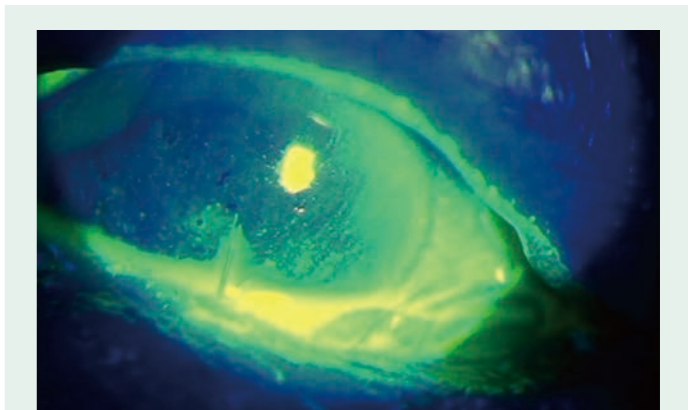
本来まつげは、まぶたの縁から眼球とは反対側に生えているのですが、「眼瞼内反症」では加齢とともに下まぶたの筋肉や腱がゆるんで、内側(眼球側)に入り込んでしまいます。

いわば「逆まぶた」の状態です。まぶたの向きに異常はないものの、まつげの何本かだけが内向きに生えてしまう逆まつげ(睫毛乱生症)とは似ていますが、別のものです。眼瞼内反症ではまぶたと一緒にまつげも内側へ入り込んでしまうため、眼球(角膜)にまつげが当たり、違和感や痛みにつながっていきます。

お子様でも逆まぶたはありますが、子どもは下まぶたの皮膚や皮下組織が余分にあるため、押し上げられるような形でまつげが内側に入り込むためです(睫毛内反症)。4~5歳で顔が引き締まってくると自然に治ってこることも多いです。

角膜炎や角膜潰瘍になる可能性もあるので
当院では手術をおすすめしています

眼瞼内反症はまつげが角膜に触れることが問題なので、まつげを抜けば一時的に症状は改善します。しかし、またすぐに生えてきますし、その状態が続くと、角膜炎や角膜潰瘍などの病気に進行する可能性もあります。そのため当院では眼瞼内反症と診断した患者さんには、まず手術をおすすめしています。もちろん患者さんの意見を尊重しながらお話をさせていただくので、手術を受けられる方



▲蛍光色素染色検査のようす

角膜上の傷ついた部分に、色素が点状に染まっている

も、そのままくりかえしまつ毛を抜いて生活される方もいらっしゃいます。

前ページの眼瞼下垂でもお伝えした通り、眼の手術は、術後に見た目の印象が変わることもあるため、機能改善に加え、顔の印象に違和感が極力でないように、当院では眼瞼内反症の手術も形成外科で行っています。

逆まつげだと言われていても、中々症状が改善しなかったり、ずっと目がゴロゴロする違和感などがある場合は、眼瞼内反症の可能性があるので、一度診察にお越しください。

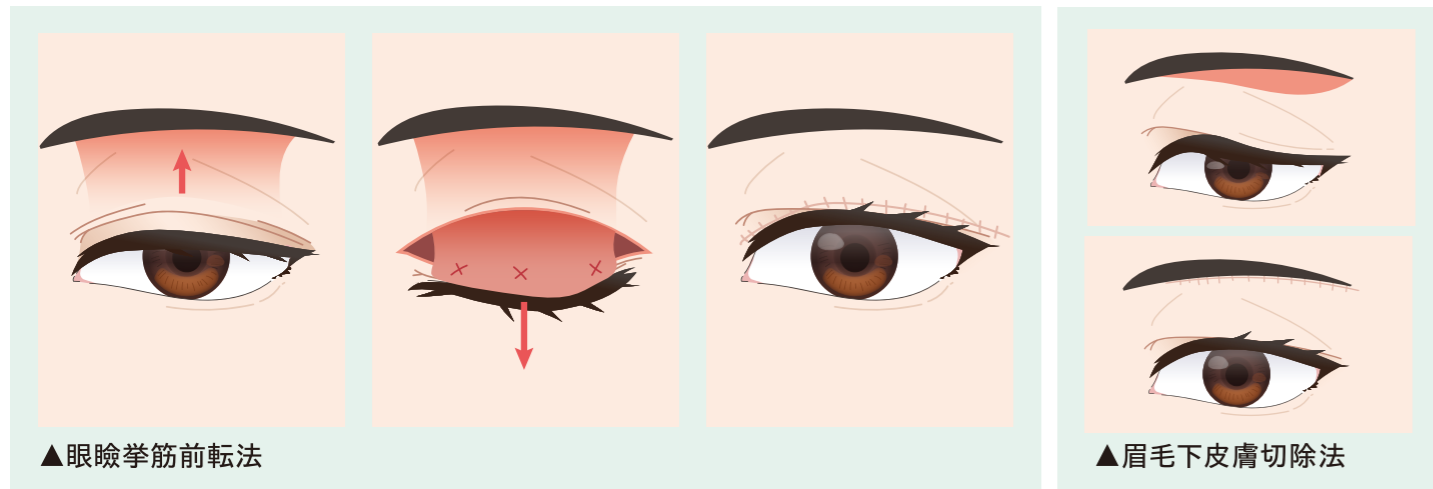


NAKANO SAYA

中野 沙弥 眼科医長

日本眼科学会認定 眼科専門医

眼科と形成外科の連携！ 眼瞼下垂・眼瞼内反症の治療について



狭くなった視界を改善する 眼瞼下垂の手術

新須磨病院では眼科医の診察後、眼瞼下垂の手術が必要だと判断された患者さんについては、病院内で眼科からの紹介を受け、形成外科で手術を行います。眼瞼下垂とは、まぶたを引き上げる眼瞼挙筋という筋肉の働きが弱まり、目の開きが悪くなって視界が狭くなる病態を指します。また目の印象に関わってきます。その為、手術では視野を拡げるだけでなく、自然な仕上がりであることが大切です。そこで当院では、機能面と審美面の両方を考慮した形成外科で手術を担当します。

眼瞼下垂の手術では主に「挙筋前転法」と「眉毛下皮膚切除法」を行っています。「挙筋前転法」は、まぶたを引き上げるために重要な筋肉である眼瞼挙筋の腱膜を前方へ移動させて、適切な位置に固定することで、まぶたの垂れ下がり改善します。手術の手順は、まず上まぶたを切開し、ゆるんでしまった眼瞼挙筋腱膜を瞼板から慎重に分離します。その後、挙筋腱膜を前方に移動（前転）させ、適切な位置で瞼板に固定します。これによって、眼瞼挙筋

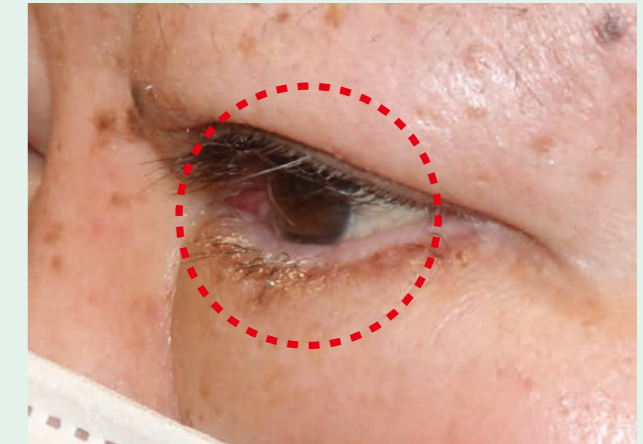
の働きが強化され、まぶたの開閉がスムーズになります。「眉毛下皮膚切除法」は、上まぶたの皮膚の余った部分を眉下で切除し、自然な目の開きを取り戻します。術式は症状や先天性か後天性かなど、さまざまな要素を踏まえ、総合的に判断して決めます。手術時間は内容にもよりますが、局所麻酔を行いおよそ1時間ほどで終了します。術中は適切なまぶたの高さや対称性の確保を重視し、術後の仕上がりを考慮しながら微調整を行います。術後はしばらく目元を冷やしていただき、腫れや内出血が生じる可能性もあるので、患者さんには目を強くこすらないようお伝えしています。また術後1週間程度は激しい運動を控えるように指導しています。手術は基本的に日帰り対応ですが、術後が心配な方や患者さんによっては1泊2日の入院を希望される方もいます。その後、定期的な診察で浮腫や出血、傷の治癒状態を観察、左右差や眼瞼機能の回復を慎重に評価し、必要に応じて追加治療を検討します。

眼瞼内反症の手術前と手術後の様子



手術前

下のまつ毛の一部が眼球側に向いています。目がゴロゴロするとの自覚症状があります。



手術後

下のまつ毛が外側に向くようになりました。ゴロゴロが改善されました。

まぶたが眼球側にめくれる 眼瞼内反症

「眼瞼内反症」とは、下側のまぶたが反り返って、眼球側に入り込んでくる病気のことです。当院では前述した「眼瞼下垂」と同じく、眼科の診察後、形成外科に連絡をいただき内反症の程度を評価、必要時を提案します。この病気は先天性と後天性によって術式が変わります。先天性の場合、余分な皮膚を取り除き、まぶたの下にある組織を、まぶたの縁にある硬い組織（瞼板）に縫い付けることで、まぶたをわずかに外向きにし、まつ毛の向きを調整する手術（Hotz変法）を行うことが多いです。後天性の場合、例えばまぶたが縦方向にたるみやすい場合は、まぶたを支える筋肉を引き締めて縫い合わせることで、まつ毛の向きを調整する手術（Jones変法）を行うことが多いです。

手術時間は1時間程度で終わり、まつ毛の接触を防ぐため、適切な修正を行いながら施術します。術後は腫れや傷跡を最小限に抑えるため、また再発のリスクを考慮しながら、術後フォローを行います。眼科でも角膜障

害の有無について評価をいただいています。眼科と形成外科の両面からフォローできることは、当院の魅力の1つだと思います。

「眼瞼下垂」と「眼瞼内反症」の手術は、機能的な改善を最優先で考えますが、見た目の印象が変わることにも配慮し、術後の患者さんの満足度向上も目指しています。また、術前に患者さんの希望や不安をしっかりと聞き、納得のいく治療方針を決定することを重視しています。2つの病気は、視界の狭さや見えにくさ、まつげがあたって目がかゆい、目がゴロゴロするなど、日常生活に支障をきたす可能性が高い病気です。まぶたが重く感じる、視界が狭くなったと感じたら、ぜひ一度ご相談ください。

KITANO TOYOAKI

北野 豊明 形成外科医長

日本形成外科学会認定 形成外科専門医
日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医

眼瞼下垂・眼瞼内反症の診察～術後フォローの流れ

診察・ カウンセリング

まぶたの状態を詳しく診察し、治療方針・手術日を決定します。

手術（局所麻酔）

手術時間はおよそ1時間ほどです。負担の少ない方法で行います。

眼瞼下垂の術後ケア・定期観察

手術後はむくみや出血、傷の治癒状態を定期的に観察します。左右差や眼瞼機能の回復を慎重に評価し、約半年間ほど回復サポートを行います。

眼瞼内反症の術後ケア・定期観察

術後の腫れ傷跡の確認、その後の適切なケアの指導を行います。また、眼科による角膜障害の有無についても評価し、約半年間の回復サポートを行います。

視能訓練士



幅広い年齢層の視機能検査と視能訓練を行う資格です

視能訓練士とは、眼科領域における専門技術者として視能検査と視能矯正を行う国家資格で、乳幼児からご高齢の方まで、世代を超えて皆さまの大切な目の健康を守るお手伝いをする視機能のスペシャリストです。主な仕事内容は、視力・視野・色覚・眼球運動・両眼視機能などの「眼科一般検査」をはじめ、正常な両眼視機能の獲得を目的とした「視能訓練」、眼疾患や外傷などにより視機能が低下した「ロービジョン者のケアサポート」、母子保健センター等で実施されている3歳児健康診査などの「健診業務」などです。

当院は、小児から高齢者の方まで幅広い年齢層の患者さんが来院され、年齢や体調等に合わせて、丁寧にコミュニケーションをとりながら検査を行っています。3歳児健康診査で精密検査が必要となったお子様が来院されることも多く、子どもが検査に集中し、安心していただける環境づくりも工夫をしています。また、脳神経外科や耳鼻科などからの精密検査の依頼も多く、他科と連携して全身の状態を考慮しながら患者さんをサポートしております。眼科の検査は視力検査だけでなく、目の奥の網膜や視神経、血管を撮影する「眼底写真」は目の奥の疾患の早期発見に欠かせません。その他、見える範囲を測定する「視野検査」、視線のずれを測定する「斜視検査」、「白内障手術の術前・術後検査」など、多岐にわたります。

将来は後輩と一緒に眼科をサポートしたいです

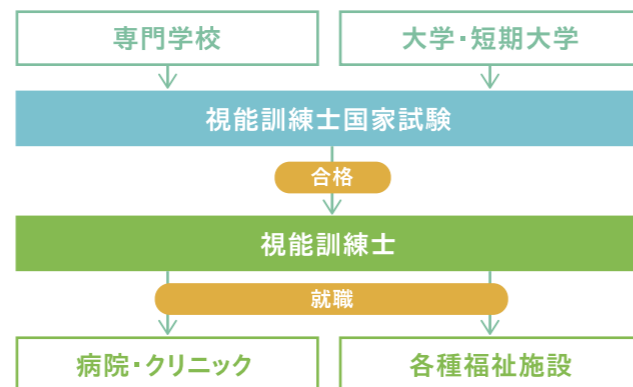
今後もさらに、患者さんにとって眼のことならなんでも相談できる存在となり、安心して検査を受けていただけるような知識と技術を重ねていきたいと思っています。また、自身の母校である「神戸総合医療専門学校」は、視能訓練士を養成する学校として兵庫県下では1校しかなく、新須磨病院が母体でもあるため、学校と連携を取りながら視能訓練士養成にも携わり、学生から憧れられる視能訓練士になれるよう自身も成長していきたいと思っています。

そして、将来は実習で関わった学生が当院に就職し、一緒に眼科医療をサポートする仲間として活躍してくれることを楽しみにしています。



ODA MAMI
小田 真未 視能訓練士

～ 視能訓練士になるには ～



小田さんは、新須磨病院が母体の「神戸総合医療専門学校」で学びました。詳細は「P6」をご覧ください。

視能訓練士の採用情報はコチラ▶



部署紹介

DEPARTMENT
INTRODUCTION

地域包括ケア病棟



患者さんの「家に帰りたい」という思いに全力で寄り添います

地域包括ケア病棟とは、急性期治療を經過し、病状が安定した患者さんに対して、住み慣れた地域での療養を支援する病棟です。

退院後の生活に向け、医師や看護師、リハビリ

スタッフ、在宅支援担当者や介護福祉士、看護助手、クラークなどが、多職種で協力しながら、患者さんの「家に帰りたい」という思いに寄り添い、入院前の暮らしを取り戻せるよう、新しい生活様式の獲得ができるように支援しています。今は脳卒中看護認定看護師も加わり、より専門的ケアも取り入れています。

また患者さんを支える家族の負担軽減、介護疲れのリフレッシュを実現するためのレスパイト入院の受け入れや、自宅や介護施設などの療養中の患者さんの緊急入院の受け入れなども行っています。

症状は患者さんそれぞれ違いますが、多職種みんなで患者さん一人おひとりの目標に寄り添い、入院生活が苦痛なものにならないように常に心がけています。これからも優しく根気よく丁寧に、患者さんと関わってきたいと思っています。

IKEGAMI RIE
池上 理絵 看護師長

TSUNODA MAIKO
角田 麻衣子 主任

KISHI MIZUHO
岸 みずほ 主任

GROUP INTRODUCTION

慈恵会グループのご紹介

What's 神戸総合医療専門学校？



医療系
7学科1専攻科

- 診療放射線科
- 臨床工学科
- 視能訓練士科
- 理学療法士科
- 作業療法士科
- 言語聴覚士科
- 歯科衛生士科
- 臨床工学専攻科

創立52年の歴史を持つ医療の総合教育校！

神戸総合医療専門学校は、新須磨病院を母体とする医療法人社団慈恵会によって1973年に設立された医療専門職の養成校です。病院が母体という理想的な環境の下、新須磨病院をはじめとした慈恵会グループの病院や施設で、現場の生きた医療を学ぶことができます。神戸総合医療専門学校は、最先端の医療を学ぶことができる全国でも有数の医療の総合教育校です。

神戸総合医療専門学校

〒654-0142
兵庫県神戸市須磨区友が丘7丁目1番21
TEL:078-795-8000(代表)
URL:https://www.kobecc.ac.jp/

詳しくは
コチラをチェック

